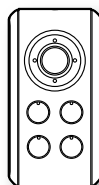
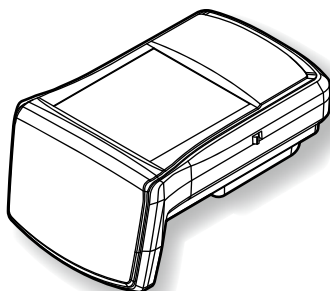


GPS 搭載液晶表示レーダー探知機 ZERO440S

取扱説明書／保証書



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

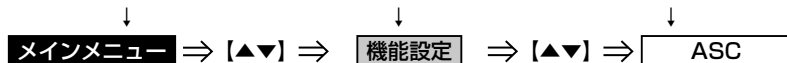
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを 2 秒程度長めに押すことを示しています。
	ソーラーバッテリーで作動している場合に対応する内容を説明しています。
	シガープラグ電源で作動している場合に対応する内容を説明しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。

各種設定操作は、以下のように表記しています。

【SET】を長押ししてメインメニューに入ることを示しています。

【アップ】または【ダウン】を押して機能設定を選び、【SET】を押すことを示しています。

【アップ】または【ダウン】を押して ASC 設定を選択することを示しています。



COMTEC

目次

目次	2	おまかせカンタン設定	44
ご使用上の注意	3	走行エリアを選ぶ	46
知っておきたいこと	5	設定操作	47
各部の名称	7	設定方法	47
レーダー本体	7	設定メニュー	48
リモコン	7	設定内容一覧	48
梱包内容	8	設定項目	50
ご使用の前に	9	機能設定	50
レーダー本体を充電する	10	GPS 設定	63
ソーラーバッテリーと		無線設定	74
シガープラグ電源	11	付録	84
リモコン電池を交換する	12	取締りの種類と方法	84
取付け方法	13	初期状態に戻す	
レーダー本体を取付ける	13	(データリセット)	87
リモコンホルダーを取付ける	17	ディスプレイモード	
基本操作	18	(販売店向け機能)	88
リモコンを操作する	18	マップコードについて	89
電源を入れる	19	故障かな?と思ったら	90
ディスプレイ表示	21	製品仕様	91
音量を調整する	23	さくいん	92
内蔵バッテリーの状態を		保証規定	95
チェックする	25	ZERO440S 保証書	裏面
便利な機能	26		
待機画面の液晶表示を消す	26		
待機画面の表示内容を選ぶ	27		
ドライブ info 機能	28		
パワーチェック info 機能	29		
G モニター表示機能	30		
ユーザーポイントを登録する	31		
警報をキャンセルする	32		
現在位置をマップコードで			
表示する	36		
振動センサーの感度を調節する	37		
GPS データを更新する	39		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。(但し、内蔵電池、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。)
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が動かない為、GPSによる警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等)
- 車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信(設定)していると、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービス・W オービス・N システム・チェックポイント・信号無視監視ポイント・警戒ポイント・ポリスエリア・事故ポイント・SA/PA/HO（サービスエリア／パーキングエリア／ハイウェイオアシス）・道の駅ポイント・急カーブポイント・トンネルポイント・県境ポイント・分岐合流ポイント・駐車監視エリア・逆走お知らせポイント・消防署エリア・スクールエリアとお客様が任意で登録した位置のみ有効です。また、シガープラグコードを接続しないと警報しない機能があります。
- G システムのみでは、自転車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更された等の理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は必ず、実際の交通規制に従い走行してください。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上波デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器で漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品がレーダー警報を行うことがあります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品がレーダー警報を行うことがあります。誤作動ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約 3 年が交換時期の目安となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になると、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。その場合、付属のシガープラグコードを接続してご使用ください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良の為、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続してください。
- リモコンの電池カバーを開ける時は、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います

● 間欠動作システム

本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合は、長時間使用できるよう省電力設計をし、GPS 受信を間欠動作させることで、より一層消費電力の軽減を行っています。その為、GPS 機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。また内蔵バッテリーの残量が減る（40%以下になる）と GPS 受信機能が停止されます。（⇒ P25）

● 連続動作システム

シガープラグコードを接続し有線使用して頂ければ、GPS 受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

レーダー本体の電源 ON から衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信するまでの時間。

（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10 秒以下	2 秒程度
10 秒～ 60 秒	5 秒程度
60 秒以上	10 秒以上

受信復帰時間

前回、電源 OFF してから の時間	衛星受信迄の時間
～ 5 時間	～ 10 秒程度
～ 数日間	～ 1 分程度
ご購入後又は、1 ヶ月程度以上	～ 5 分程度

※ 参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

ご使用上の注意

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信(設定)している時やナビゲーション本体や、地デジチューナー及び衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

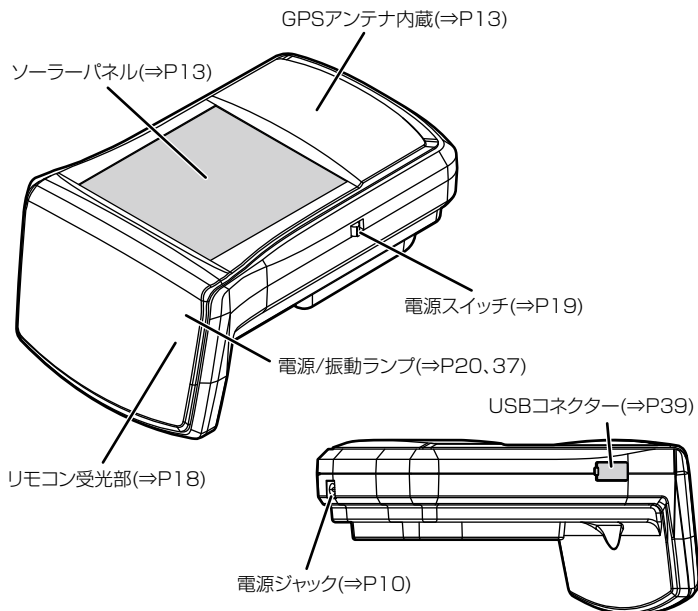
● ディスプレイについて

ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

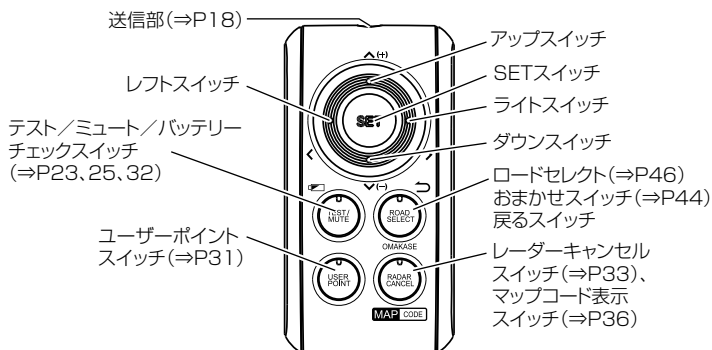
※ 上記の状態でディスプレイに表示されていない場合でも、その他の機能は正常に作動します。

各部の名称

レーダー本体



リモコン

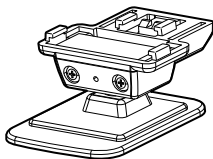


※ 電池の入れ方は⇒ P12 参照

各部の名称

梱包内容

ステー (1 個)



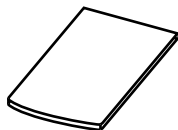
シガープラグコード (1 個)
(約 3m/1A ヒューズ内蔵)



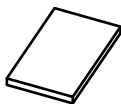
USB ケーブル (1 本)
(60cm)



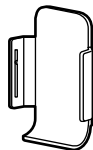
両面テープ 大 (1 枚)
(ステー固定用)



粘着シート (1 枚)
(ステー固定用)



リモコンホルダー (1 個)



両面テープ 小 (1 枚)
(リモコンホルダー固定用)



※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

⚠ 注意

レーダー本体と PC の USB 接続は必ず、GPS データ更新 (⇒ P39) の際に行ってください。

【USB Virtual Driver】のセットアップが終わる前に接続すると、レーダー本体を PC が認識できず、正常にデータ更新ができない場合があります。

ご使用の前に

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

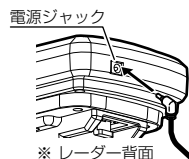
※シガープラグコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンをかけて 4 時間以上充電してください。(充電は断続的に行うことも可能ですが、その場合は目安として 8 時間以上充電してください)
- 通常の使用状況において、ソーラーバッテリー動作時に、より長時間動作するように設計されていますが、ソーラーパネルの補充電のみで使用することはできません。また、下記のような場合、発電量が不足し、連続作動時間が短くなる場合があります。ローバッテリーサイン(内蔵バッテリー充電不足)が表示された場合、付属のシガープラグコードを使用して充電を行ってください。
 1. 屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
 2. 冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
 3. 高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
 4. 夜間走行の頻度が多い。
 5. 全ての機能を ON にした状態で長時間使用する。
- 本製品に搭載している GPS 受信機能は、従来のレーダー探知機に比べ、より多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリー動作時は、全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続してご使用する場合は、連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- 車両のシガープラグコード接続で充電が困難な場合（長時間エンジン始動ができない場合など）、弊社オプションの SS-065 AC100V 専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

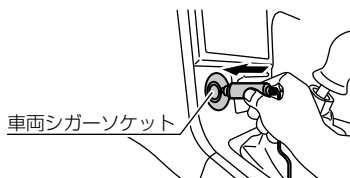
ご使用の前に

レーダー本体を充電する

1. レーダー本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差込みます



2. 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます



3. 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください



アドバイス

バッテリー電圧が極端に低下した場合は、シガープラグコードを接続して、レーダー本体の電源スイッチを一旦 OFF にし、再度 ON にしてください。

ソーラーバッテリーとシガープラグ電源

本製品はソーラーバッテリー動作時に、より長時間動作するように設計されています。またシガープラグコード接続時は、電源が安定することにより、GPS機能をフル活用できるよう設計されています。

ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作では、下記表の機能が変わります。

電源の使用状態		ソーラーバッテリー	シガープラグ電源
GPS 受信 (⇒ P5)		間欠受信	連続受信
G システム (⇒ P20)		なし	あり
ASC 機能 (⇒ P50)		ASC-V (振動センサー利用)	ASC-i (GPS データ利用)
LSC 機能 (⇒ P52)		LSC-V (振動センサー利用)	LSC-i (GPS データ利用)
マップコード表示機能 (⇒ P36)		なし	あり
ドライブ info 機能の 速度・加速度グラフ (⇒ P28)		グラフを水色 1 色で表示	グラフを 4 色で表示
バッテリーチェック機能 (⇒ P25)		あり	なし
GPS 警報	オービス/ユーザー登録 ポイント警報 (⇒ P58)	1km 手前より警報	2km 手前より警報 ※高速のみ
	ポリスエリア (⇒ P66) 事故ポイント (⇒ P67) 道の駅ポイント (⇒ P68) 急カーブポイント (⇒ P68) トンネルポイント (⇒ P69) 県境ポイント (⇒ P69) 分岐合流ポイント (⇒ P70) 逆走お知らせポイント (⇒ P72) 消防署エリア (⇒ P73) スクールエリア (⇒ P73)	警報しない	警報する
無線 警報	署活系 (⇒ P78) ワイド (⇒ P79) 取締特小 (⇒ P79) 警察活動 (⇒ P80) 警察/消防ヘリテレ (⇒ P81) 新救急 (⇒ P82) 消防 (⇒ P82) レッカー (⇒ P82) 高速管理車両 (⇒ P83) 警備 (⇒ P83) タクシー (⇒ P83)	警報しない	警報する
	待機画面	待機時は非表示 警報時および操作時は表示	常に表示

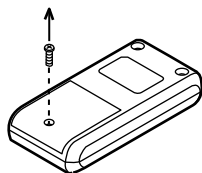
※ 表にない項目は機能制限されません。

ご使用の前に

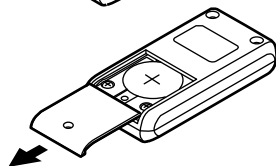
リモコン電池を交換する

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが、1日10回のスイッチ操作で約1年です。リモコンが作動しない、又は操作が鈍くなったなどの場合は、リモコンの電池交換をしてください。

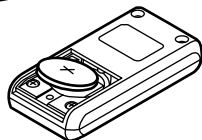
1. 電池カバーのネジを外します



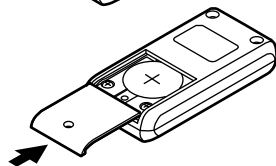
2. 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外します



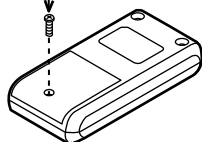
3. 古い電池を取り出し、新しい電池（CR2025 × 1 個）を+（プラス）面を上にして入れます



4. 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付けます



5. 電池カバーのネジを締めます



⚠ 注意

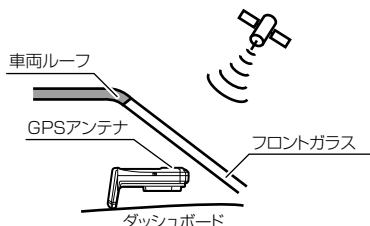
電池の上下を間違えて入れると、故障する恐れがありますのでご注意ください。

取付け方法

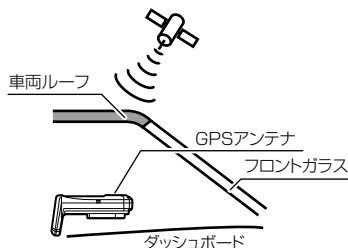
レーダー本体を取付ける

- ・フロントガラスがUV カットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足のため、正常な充電ができない場合があります。その際は付属のシガープラグコードをご使用ください。
- ・運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- ・GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

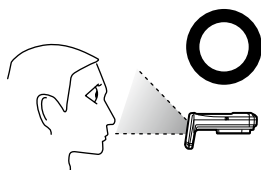
○ 障害物がないので電波の受信ができる



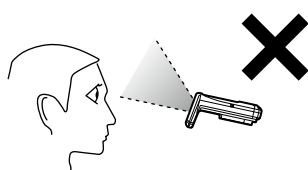
✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



- ・レーダー本体の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、ディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。



●見やすい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面
の取付け

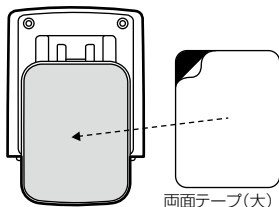


●見にくい取付け
ディスプレイの角度が視界の正面
よりずれている取付け

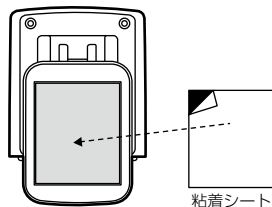
取付け方法

1) ステーに両面テープまたは粘着シートを貼付けます

◇両面テープの場合



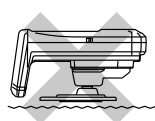
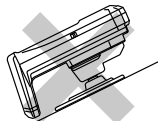
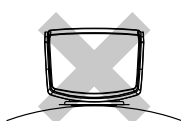
◇粘着シートの場合



⚠ 粘着シート使用上の注意

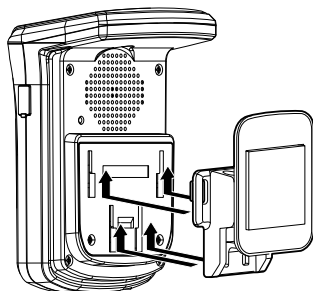
- ・粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- ・粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。

①取付け面が平坦な場所ではない。 ②取付け面が傾斜になっている。 ③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。



- ・ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

2) レーダー本体裏面のステー取付け穴にステーのフックを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします

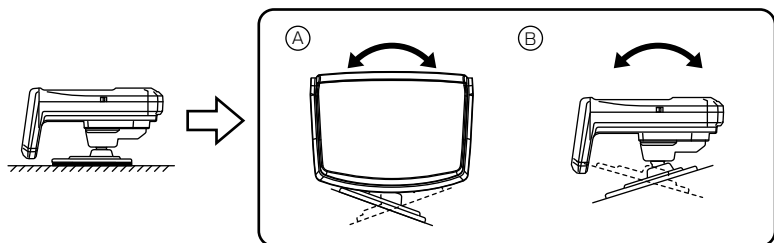


- 3) 濡れたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。レーダー本体が地面と平行になるよう①、②のように角度を調整します

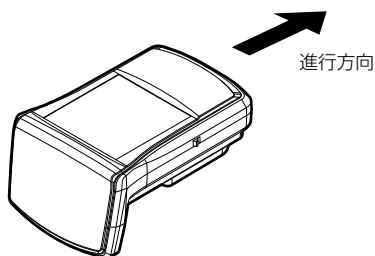
⚠ 警告

エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

誤った場所への取付けは、事故の原因となります。



- 4) レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します



- 5) シガープラグ電源を使用する場合は、シガープラグコードを接続します

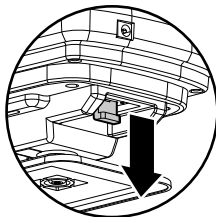
👉 アドバイス

一部の外車など、エンジンを停止してもシガープラグに 12V 電圧がある車は、オプション（別売品）の電源配線ユニット（SS-063）を使用してください。

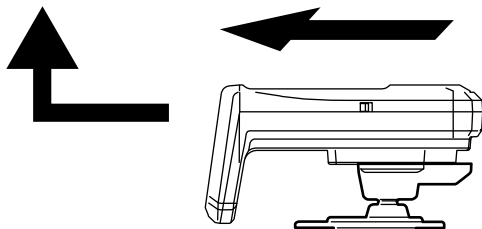
取付け方法

レーダー本体を取外す

- 1) ステア裏側のツメを押し下げます

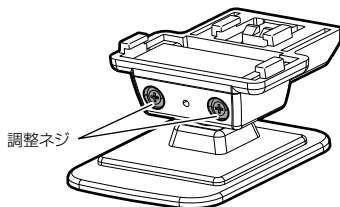


- 2) ステアを押さえながらレーダー本体をスライドさせて取外します



⚠ 注意

長い間使用するとステアのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。
その場合には、本体からステアを外し、調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しづつ締めてください。調整ネジを締めた後は、本体を元の位置に戻してください。

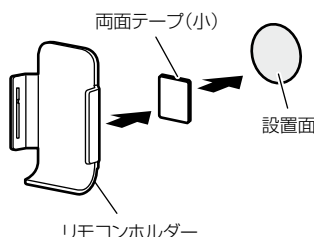


リモコンホルダーを取付ける

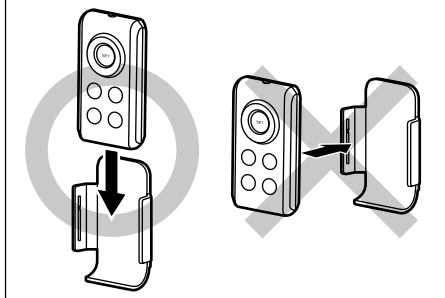
リモコンを使いやすいように、リモコンホルダーをダッシュボードやフロアコンソールに固定してください。

※ リモコンは図のようにリモコンホルダーの上からスライドさせて、リモコンを収納させます。

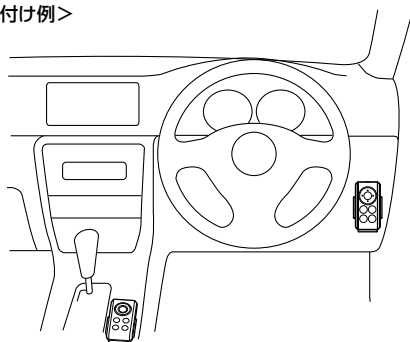
<リモコンホルダーの取付け>



リモコンの収納方向



<取付け例>



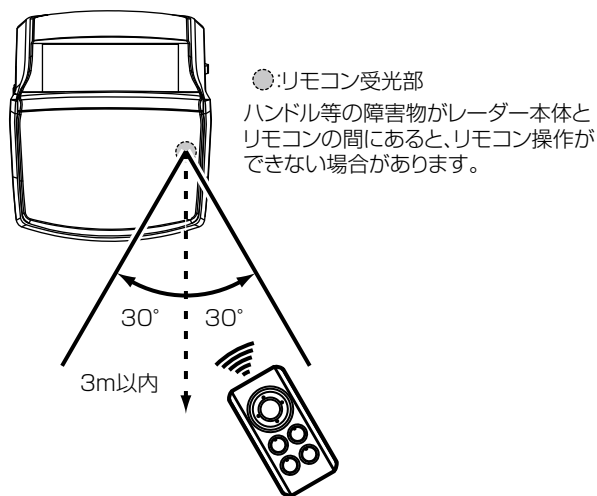
⚠ 注意

- ・ リモコンを紛失した場合は、販売店でリモコンをご購入ください。
リモコン型式名「RRE-X809」
- ・ 指定以外（CR2025 を 1 枚）の電池を使用しないでください。
- ・ 落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンは防水ではありませんので水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- ・ 分解しないでください。
- ・ 高温になる場所、直接日の当たる場所等に置かないでください。

基本操作

リモコンを操作する

- ・ リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30 度、直線距離 約 3m 以内です。リモコンとレーダー本体の間に障害物があると、操作できない場合があります。
- ・ レーダー本体の電源が入っていないと、リモコン操作はできません。

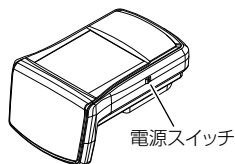


⚠ 注意

- ・ 本製品はリモコン無しでレーダー本体を操作（設定等）することはできません。
- ・ 運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

電源を入れる

1. レーダー本体の電源スイッチを切替える



2. 電源設定を変更する

- ・本製品はソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作（12V）を切替えることができます。
- ・お買い上げ時は、【SOLAR】（ソーラーバッテリー使用）に設定されています。

設定方法

- 1) 待機画面でリモコンの SET ボタンを**長押し**してメニュー画面を表示させる
- 2) 【機能設定】を選択し、リモコンの SET ボタンを押す
- 3) 【電源設定】を選択する
- 4) リモコンの【LEFT】【RIGHT】を押して【12V】【SOLAR】を選択する
 - ・【12V】.....12V 電源使用（シガープラグコード接続）
 - ・【SOLAR】.....ソーラーバッテリー使用
- 5) 【ROAD SELECT/ 】を 2 回押して待機画面に戻る



※詳しい設定操作方法は P47 を参照してください。

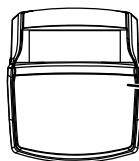
アドバイス

- ・ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作（12V）で機能が異なります。（⇒P11）
- ・エンジンを停止してもシガープラグに電圧が 12V ある車（一部外車など）は、必ずシガープラグコードを配線する場合にオプション SS-063「電源配線ユニット」を使用してください。
- ・【12V】はシガープラグコードを接続していないと選択することはできません。

基本操作

3. 電源 / 振動ランプを確認する

ソーラーバッテリー		シガープラグ電源
振動なし	早い点滅	点灯
振動あり	遅い点滅	



電源/振動
ランプ

4. GPS 衛星の受信アナウンスとアイコン表示を確認する。

数秒～数分かかる場合があります

受信アナウンス	アイコン表示
「ピンポン」 衛星を受信しました。」	

GPS 衛星の受信ができないときは

「ジャン」 衛星を受信できません。」とアナウンスされ、アイコン表示が確認できない場合は、GPS 衛星を正確に受信できていません。

未受信時



アドバイス

GPS の補完機能 ※シガープラグコード接続時のみ

本製品は GPS の補完機能として『G システム』を搭載しています。走行中に GPS 衛星の受信ができなくなった場合、G システムによって自車位置の補正検出を一定時間行います。G システム作動時は GPS アイコン表示部に、右記アイコンが表示されます。

Gシステム作動時



※ G システムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

⚠ 注意

設定を【12V】にした状態で、シガープラグコードを外して電源を ON にしてもエラー画面が表示され、一切の操作ができません。【12V】から【SOLAR】に設定を変える際は必ず、シガープラグコードを接続した状態で行ってください。

電源ジャックを接続して
電源を供給してください

ディスプレイ表示

待機画面表示例



フリーレイアウトエリアの表示内容は、お好みに合わせて変更することができます。(⇒ P27)

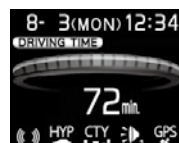
※ ドライブ info、パワーチェック info、G モニター画面ではカレンダー表示エリアとフリーレイアウトエリアが切替わります。

フリーレイアウトエリア

・速度表示



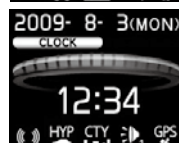
・連続運転時間



・GPS 情報表示



・時計表示



・車両電圧表示



・進行方向表示



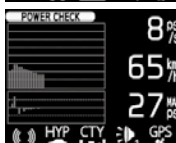
・標高表示



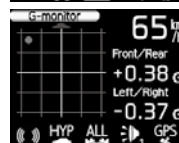
・ドライブ info 表示
(⇒ P28)



・パワーチェック
info 表示(⇒ P29)



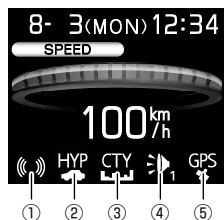
・G モニター 表示
(⇒ P30)



基本操作

アイコンについて

待機画面表示時には以下のアイコンが表示されます。



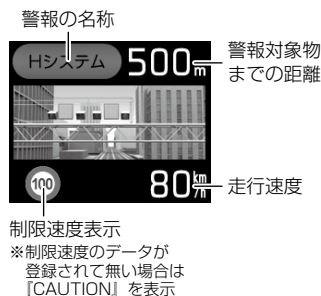
	アイコン	表示内容	参照ページ
①		LSC 機能の作動状態を表示	P53
②		レーダーの受信感度を表示	P51
③		走行エリアの設定を表示	P46
④		警報音の設定を表示	P56
⑤		GPS 衛星の受信 / 未受信を表示	P20
		G システム作動時に表示	P20
		駐車監視エリアを表示	P71

アドバイス

G システム (⇒ P20) のみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

警報画面例

● GPS 警報

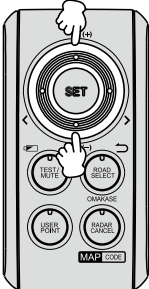
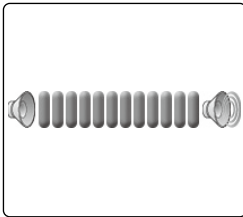


●レーダー、ステルス、無線警報



音量を調整する

- ・ディスプレイを確認しながら、13段階の音量調整ができます。
- ・お買い上げ時は、音量が最大に設定されています。

①待機画面中に	②【アップ】または【ダウン】を押す	【アップ】で音量が大きくなります。
		 【ダウン】で音量が小さくなります。 ※音量を最小にすると消音になります。

テスト機能を使用する

- ・本製品がどのような音量で警報するかを確認できる機能です。
- ・待機画面中に【TEST/MUTE】を押すと、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m以下）してから約10秒後、また、レーダー受信警報してから約15秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

基本操作

ディスプレイの明るさを変える

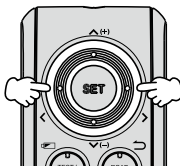
昼間と夜間のディスプレイの明るさを任意で各 3 段階に切替えます。

①待機画面中に



➡

②【レフト】または【ライト】を押す



➡

【レフト】で暗くなります。

通常時	☹ ⇄ ☹ ⇄ ☹
オートディマーマー作動時	暗 ⇄ 中 ⇄ 明
3 段階	

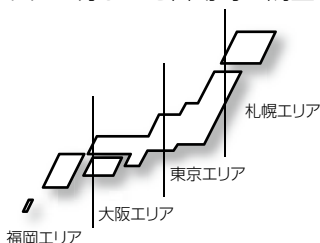
【ライト】で明るくなります。

👉 アドバイス

- ・ソーラーバッテリー時に明るさを調整すると、約 3 秒間ディスプレイのバックライトが点灯します。
- ・通常時とオートディマーマー作動時とでは、バックライトの明るさが違います。

オートディマーマー機能

- ・本製品は時刻や明るさによって、バックライトの明るさを自動的に調整するオートディマーマー機能を採用しています。
- ・ソーラーパネルの発電量を利用して明るさを自動的に調整します。
- ・GPS 情報を利用した場合、各エリアを中心に時季（2～4 月 / 5～7 月 / 8～10 月 / 11～1 月）の日の出と日の入り時刻の統計を基にオートディマーマー作動時刻を決めています。



内蔵バッテリーの状態をチェックする



- 【TEST/MUTE】を**長押し**すると、内蔵バッテリーの残量がアナウンスされます。

アナウンス	内容	内蔵バッテリー状態
チャーン♪ バッテリーは十分です	全ての受信機能は作動します。	充電良好です。
チャーン♪ バッテリーは 60%です		
チャーン♪ バッテリーは 40%です	バッテリー残量によって GPS 機能のみを停止、または全受信機能を停止します。	充電をお勧めします。
ジャン♪ バッテリーは 20%です		充電が必要です。

- 内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、アナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
ジャン♪ バッテリーチェック GPS 機能を停止します	GPS 受信機能を停止	充電 40%以下
ジャン♪ バッテリーチェック 充電を行ってください	全受信機能を停止	充電 20%以下

便利な機能

待機画面の液晶表示を消す

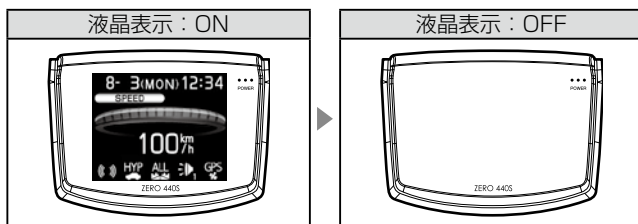
リモコンの【ダウン】を長押しするごとに液晶表示の ON・OFF を切替えることができます。

設定方法

1. リモコンの【ダウン】を長押しします。



2. リモコンの【ダウン】を長押しするごとに、液晶表示の ON・OFF が切替わります。



アドバイス

- ・液晶表示を OFF にしていても、警報時および操作時は画面表示を行います。
- ・液晶表示 OFF 時は、【SET】ボタンを押すことで約 15 秒間画面表示されます。
- ・設定メニュー表示中、マップコード表示中や警報中は液晶表示パターンを切替えることはできません。

待機画面の表示内容を選ぶ

リモコンの【レフト】【ライト】を**長押し**すると、フリーレイアウトエリアの表示内容が下記の順番で切替わっていきます。



フリーレイアウトエリア



※ ドライブ info、パワーチェック info、G モニター画面ではカレンダー表示エリアとフリーレイアウトエリアが切替わります。

👉 アドバイス

- ・ 標高表示は、衛星の位置等に大きく影響され、停車中でも衛星の移動等で表示が変わる場合があります。
- ・ カレンダー表示、時計表示は GPS データを利用するため、日付・時刻の設定はありません。
- ・ 進行方向表示は時速 20km/h 以下の場合、正確な表示がされない場合があります。
- ・ スピード表示は時速 10km/h 以下の場合、正確な表示がされない場合があります。
- ・ スピード表示は GPS データによって算出しています。車両のスピードメーターと本製品の表示速度が異なる場合があります。
- ・ 車両電圧の表示電圧と実際の車両バッテリー電圧とは若干の誤差があるため、表示電圧はあくまでも参考程度とお考えください。

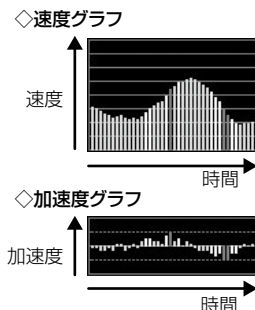
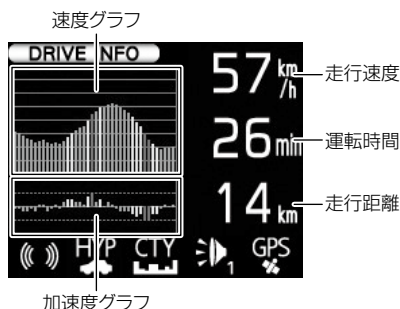
便利な機能

ドライブ info 機能



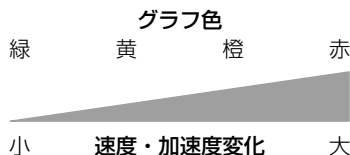
GPS のデータから走行速度・連続運転時間・走行距離を表示し、速度・加速度の変化をグラフで表示します。

1. 待機画面中にリモコンの【レフト】【ライト】を**長押し**し、待機画面をドライブ info 画面に変更する (⇒ P27)
2. 走行時の情報が画面に表示されます。



◇グラフの色は速度変化・加速度変化の大きさを表わしています。

※ グラフの色はシガープラグコード接続時のみ変化します。ソーラーバッテリー動作時は変化せず、水色 1 色となります。



👉 アドバイス

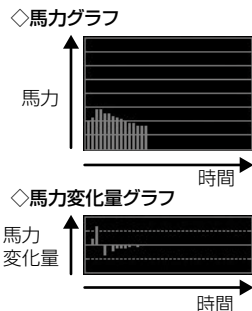
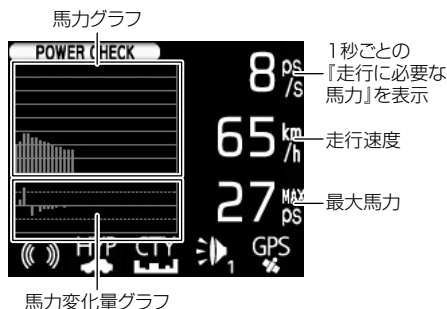
- ・ グラフの色をグリーンやイエローに揃えるように走行する（急な加速・減速を行わない）ことで、安全運転の目安になります。
- ・ 走行距離は GPS データによって算出しています。そのため実際の走行距離と異なる場合があります。
- ・ 走行距離表示は GPS 受信時のみ加算されます。トンネル内など、GPS が受信できない状態では走行距離は加算されません。
- ・ グラフは GPS の受信状態により描画間隔が異なります。（シガープラグコード接続時、ソーラーバッテリー動作時で異なります）

パワーチェック info 機能



GPS のデータと設定した車両重量 (⇒ P61) から 1 秒ごとの『走行に必要な馬力』・走行速度・最大馬力を表示し、馬力の変化をグラフで表示します。

1. 待機画面中にリモコンの【レフト】【ライト】を**長押し**し、待機画面をパワーチェック info 画面に変更する (⇒ P27)
2. 車両の馬力等の情報が画面に表示されます。



アドバイス

1 秒ごとの走行に必要な馬力を表示しているため、車両カタログ表記の馬力とは異なります。

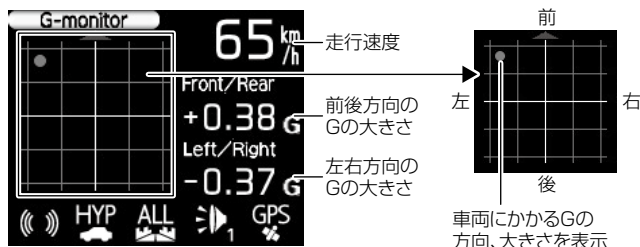
※例えば、80km/h で走行するために必要な馬力や 1 秒間に 5km/h 加速するのに必要な馬力を表示しています。

便利な機能

G モニター表示機能

急加速や急減速等による内蔵の G センサーの動きを画面に表示します。

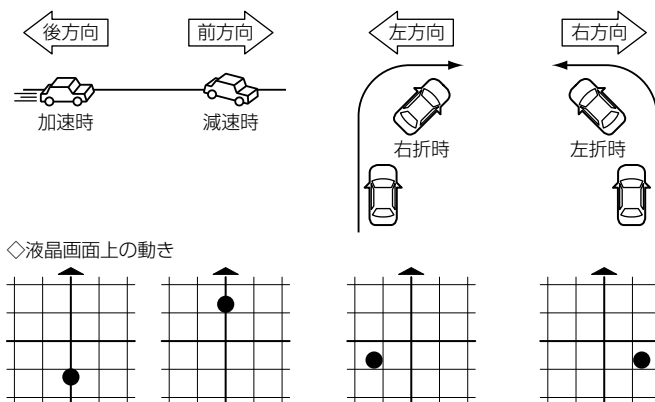
1. 待機画面中にリモコンの【レフト】【ライト】を**長押し**し、待機画面を G モニター表示画面に変更する (⇒ P27)
2. G センサーの情報が画面に表示されます。



※走行速度はGPS受信時のみ表示されます。

アドバイス

車両の動きによる G のかかり方 (例)



ユーザーポイントを登録する

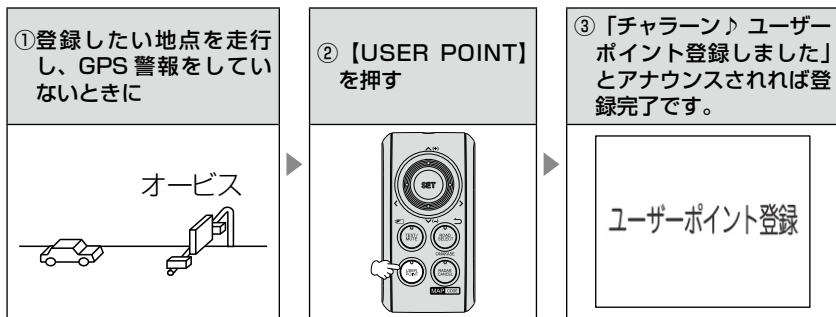


未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

登録方法



走行エリアを「シティーモード」または「オールモード」選択時に、ユーザーポイントを登録すると「一般道路上」に登録され、「ハイウェイモード」選択時に登録すると「高速道路上」に登録されます。

👉 アドバイス

ユーザーポイント解除方法

登録したポイントの警報中に【USER POINT】を**長押し**すると「チャラン♪ ユーザーポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

ユーザーポイントの登録ができない場合

- ・GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- ・GPS 警報中は登録することができません。(レーダー警報中、無線警報中は登録できます)
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「ジャン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ・ユーザーポイントを 100 件を超えて登録しようとした場合、「ジャン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

便利な機能

警報をキャンセルする

警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意

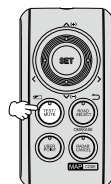
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

①各種警報中に



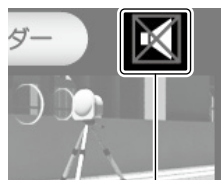
②【TEST/MUTE】を押す



③「ピッ」とブザー音が鳴り、ミュートアイコンが表示されます。



ミュートアイコン



ミュートアイコン

- ・ミュートアイコンが表示されている間は、警報しません。
- ・ミュート中に再度【TEST/MUTE】を押す、または待機画面に戻るとミュート状態は解除されます。
- ・誤警報の登録地点（⇒P33）、オービスポイントのキャンセル地点（⇒P34）、ASC機能（⇒P50）およびLSC機能（⇒P52）作動中にもミュートアイコンが表示されます。



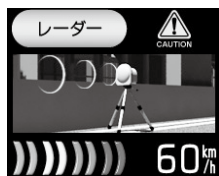
誤警報地点を登録する

- ・自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
- ・最大登録件数は、50 件です。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

①レーダー警報中に



②【RADAR CANCEL】を長押しする



③「チャーン♪ レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。

レーダーキャンセル登録

👉 アドバイス

レーダーキャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中（ミュートマーク表示中）、【RADAR CANCEL】を長押しすると「チャーン♪ レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

登録ができない場合

- ・レーダー（ステルス含む）受信中でも GPS 衛星が受信できないと「ピッピッピッピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「ジャン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ・レーダーキャンセルポイントを 50 件を超えて登録しようとした場合、「ジャン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。



オービスポイントをキャンセル登録する

- ・お買い上げ時から登録してあるオービスポイントや N システムで GPS データに登録されているオービスポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は、30 件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

① オービス警報中に



② 【USER POINT】 を 長押しする



③ 「チャラーン」 警報 キャンセルポイント登 録しました」とアナウ ンスされれば登録完了 です。

キャンセルポイント登録

👆 アドバイス

警報キャンセルポイント解除方法

登録地点を走行中（ミュートマーク表示中）、【USER POINT】を**長押し**すると「チャラーン」 警報キャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ登録が解除されます。

登録ができない場合

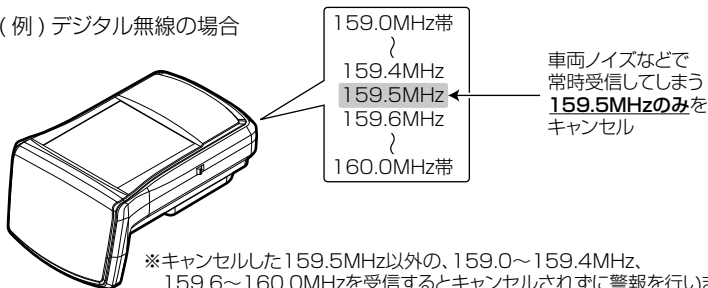
- ・警報キャンセルポイントを 30 件を超えて登録しようとした場合、「ジャン」 メモリーフルです」とアナウンスされます。

無線警報をキャンセル登録する

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

（例）デジタル無線の場合



・マニュアルモード（⇒P44、45）でOFFに設定した警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。



👉 アドバイス

無線キャンセル登録解除方法

レーダー本体をデータリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。（⇒P87）

登録ができない場合

「ジャン♪ 登録できません」とアナウンスされます。

便利な機能

現在位置をマップコードで表示する



マップコード表示方法



- ・自動で待機画面には戻りません。待機画面に戻すには、【ROAD SELECT】を押してください。
- ・【RADAR CANSEL】を押すごとに表示が変わります。
- ・場所を移動しても表示は自動で更新されません。

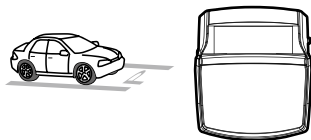
⚠ 注意

- ・運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。
- ・マップコード表示中は警報を行いません。
- ・マップコード表示中は設定を変更することはできません。設定を変更したい場合は、表示を待機画面に戻してから変更を行ってください。
- ・GPSの受信状況や、マップコードでの場所の特定が約30m四方（標準マップコード）までのため、GPSの測位誤差を含めて30～100m程マップコードを表示させた地点と地図上との誤差がでることがあります。予めご了承ください。
- ・マップコードは場所により桁数の違いがあります。最大10桁（標準マップコード）まで表示します。
- ・ソーラーバッテリー動作時はマップコードの表示はできません。

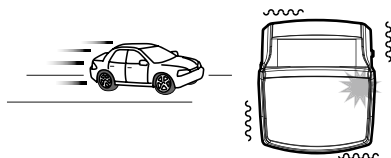
振動センサーの感度を調節する



- ・ソーラーバッテリーで使用する場合、レーダー本体は停止時など車両の振動が無い状態が続くと数分後、自動的に電源が切れ（オートパワーOFF機能）、エンジン始動や走行振動を検出すると自動的に電源が入ります。
- ・お買い上げ時振動センサーの感度は、【HI】に設定されています。



振動がなくなると自動的に電源が切れ、電源/振動ランプが消灯します。



レーダー本体が振動を検出すると自動的に電源が入り、電源/振動ランプが点滅します。

設定方法

- 1) 待機画面でリモコンのSET ボタンを**長押し**してメニュー画面を表示させる
- 2) 【機能設定】を選択し、リモコンのSET ボタンを押す
- 3) 【LSC-V 感度】を選択する
- 4) リモコンの【レフト】【ライト】を押して【LOW】【MID】【HI】を選択する

※次ページの表を参考にし、設定を行ってください。

- 5) 【ROAD SELECT/ 】を2回押して待機画面に戻る

※詳しい設定操作方法はP47を参照してください。



便利な機能

- ・設定メニューの【LSC-V感度】の設定を切替えることで振動センサーの感度を調節することができます。車両のタイプによって設定を変更してください。
- ・設定の目安として、アイドリング状態（駐・停車時）で電源/振動ランプが3回点滅（早い点滅）し、走行状態で1回点滅（遅い点滅）するように設定してください。

LSC-V 感度設定	振動検出感度	車両タイプ（参考）
LOW	低	ディーゼル（振動の大きい車両）
MID	中	ガソリン／ディーゼル
HI	高	ガソリン（振動の小さい車両）

⚠ 注意

車両振動が極端に大きい車や、駐停車時、走行時の振動差が極端に小さい車は、振動センサーが正常に作動しないことがあります。また、本製品の取付け位置によって、振動の検出度合いが変わることもあります。

👉 アドバイス

- ・振動や騒音の激しい場所に駐停車する場合に、レーダー本体が振動を検知して電源が切れない場合があります。その場合は、電源スイッチで電源を切ってください。
- ・車種によっては走行中でも振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合があります。

GPS データを更新する

- ・本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は、最新バージョンへの更新が可能です。
- ・今現在でも新たにオービス・N システムが増設されており、また調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

⚠ 注意

レーダー本体と PC の接続は必ず、次ページ手順 4 以降にて行ってください。
[USB Virtual Driver] のセットアップが終わる前に接続すると、レーダー本体を PC が認識できず、正常にデータ更新ができない場合があります。

最新データをダウンロードする

- ・インターネットが利用できる環境のパソコンからコムテックホームページ（<http://www.e-comtec.co.jp>）へアクセスして最新バージョンの GPS データをダウンロードしてください。

※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更、中止される場合があります。

（ダウンロードに必要なもの）

《対応 OS》

- ・Microsoft Windows 2000
- ・Microsoft Windows XP
- ・Microsoft Windows Vista

※ 64bit 版は除きます。

弊社ホームページへアクセス



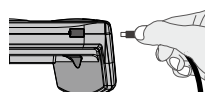
オービスデータをダウンロード



ダウンロードしたデータに同梱のアプリケーションを起動



付属の USB ケーブルでレーダーを PC と接続し、本体を更新



👉 アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテック サービス部までお送りください。（有料）

〒470-0206

住所 愛知県みよし市助生町下石田 60 番

電話 0561-36-5654

株式会社 コムテック サービス部 データ更新係 迄

便利な機能

レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをホームページからダウンロードし、レーダー本体と PC を接続することで、GPS データを更新することができます。

《 WindowsXP/2000 の場合 》

1. ホームページから GPS データをダウンロードする

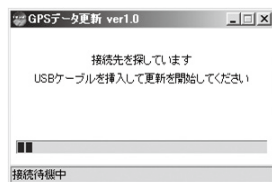
2. ダウンロードしたデータに同梱されている【GPS データ更新アプリ】 ファイルをダブルクリックする



3. 【USB Virtual Driver】 のセットアップが開始されるので、画面の指示に従いインストールする

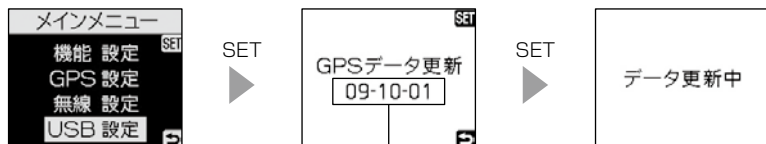


4. [接続待機画面] が表示されたら、レーダー本体と PC を付属の USB ケーブルで接続し、電源を ON にする



5. レーダー本体の操作をする

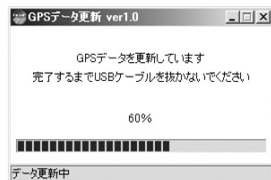
- ・ リモコンの【SET】ボタンを長押しし、設定メニューの中から【USB 設定】を選択し、【SET】ボタンを押す
- ・ [GPS データ更新画面] が表示されたら【SET】ボタンを押す
- ・ [データ更新中] の画面が表示され、更新が開始する



本体に登録されているGPSデータの配布日を表示します。

※ レーダー接続後、PC 画面に【新しいハードウェアの検出ウィザード】が表示された場合、【ソフトウェアを自動的にインストールする】を選択し、インストールを完了してください。

6. GPS データの更新が始まります



7. PC とレーダー本体共に [更新完了画面] が表示されたら、レーダー本体の電源を入れなおす

<PC画面>



<レーダー本体画面>

更新完了

8. レーダー本体が正常に起動したら、USB ケーブルを抜き、[更新完了画面] の【OK】をクリックしてください

- ・ 起動しなかった場合、[更新完了画面] の【OK】をクリックし、一旦アプリケーションを終了した後、再度更新作業を行ってください。

⚠ 注意

レーダー本体を PC に接続するときは USB ハブを使用しないでください。電圧が安定せず、正常にデータ更新が行えない場合があるため、必ず PC 本体の USB 端子に接続してください。またノート PC によっては、本体の USB 端子に接続しても供給する電力が小さく、正常に動作しない場合があります

便利な機能

《 WindowsVista の場合 》

1. ホームページから GPS データをダウンロードする

2. ダウンロードしたデータに同梱されている【GPS データ更新アプリ】 ファイルをダブルクリックする



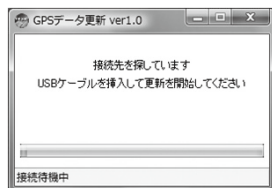
GPSデータ更新アプリ.exe
アプリケーション

- ・ [ユーザーアカウント制御画面] が表示されるので許可をクリックしてください。

3. 【USB Virtual Driver】 のセットアップが開始されるので、画面の指示に従いインストールする



4. [接続待機画面] が表示されたら、レーダー本体と PC を付属の USB ケーブルで接続し、電源を ON にする

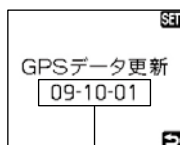


5. レーダー本体の操作をする

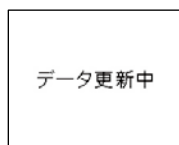
- ・ リモコンの【SET】ボタンを**長押し**し、設定メニューの中から【USB 設定】を選択し、【SET】ボタンを押す
- ・ [GPS データ更新画面] が表示されたら【SET】ボタンを押す
- ・ [データ更新中] の画面が表示され、更新が開始する



SET



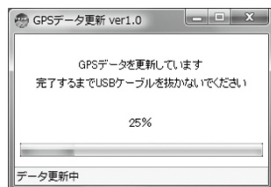
SET



本体に登録されているGPS
データの配布日を表示します。

※ レーダー接続後、PC 画面に【新しいハードウェアの検出ウィザード】が表示された場合、【ソフトウェアを自動的にインストールする】を選択し、インストールを完了してください。

6. GPS データの更新が始まります

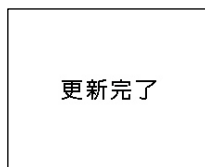


7. PC とレーダー本体共に [更新完了画面] が表示されたら、レーダー本体を再起動する

<PC画面>



<レーダー本体画面>



8. レーダー本体が正常に起動したら、USB ケーブルを抜き、[更新完了画面] の【OK】をクリックしてください

- ・ 起動しなかった場合、[更新完了画面] の【OK】をクリックし、一旦アプリケーションを終了した後、再度更新作業を行ってください。

⚠ 注意

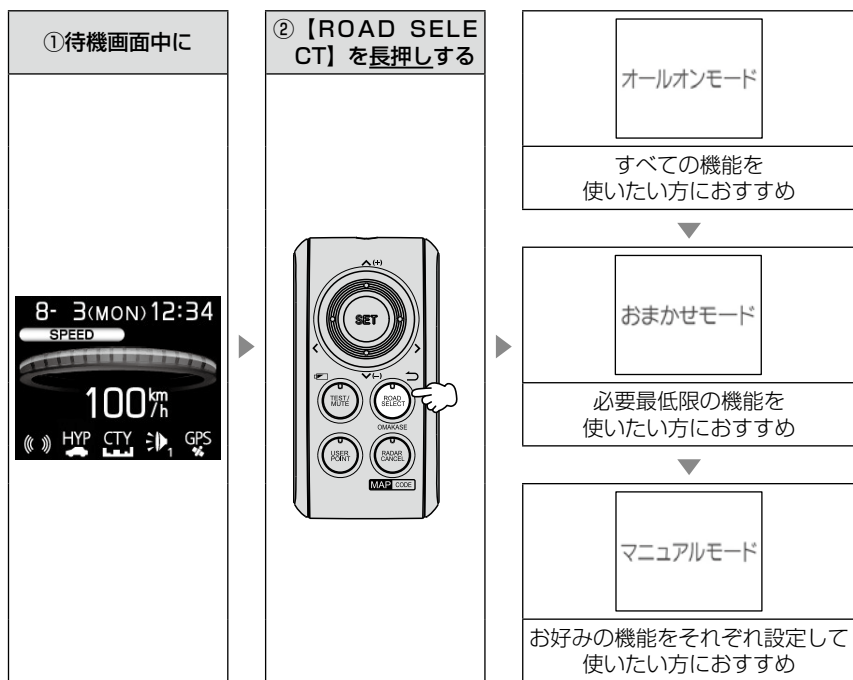
レーダー本体を PC に接続するときは USB ハブを使用しないでください。電圧が安定せず、正常にデータ更新が行えない場合があるため、必ず PC 本体の USB 端子に接続してください。またノート PC によっては、本体の USB 端子に接続しても供給する電力が小さく、正常に動作しない場合があります

便利な機能

おまかせカンタン設定

GPS 警報および無線警報を 3 つのモードから一括で簡単に設定できる機能です。

設定方法



【ROAD SELECT】を**長押し**する毎に [オールオンモード] → [おまかせモード] → [マニュアルモード] (以降繰返し) の順に設定されます。

アドバイス

お買い上げ時はマニュアルモードで、各設定の内容はオールオンモードと同様です。
ただし、ロードセレクト機能は『AT』に設定されています。

設定内容一覧

	機 能	オールオンモード	おまかせモード	マニュアルモード	
無線設定	カーロケ	HI	HI	P48、49 の設定になります。 オールリセット、お買い上げ時の内容はオールオンモードの内容になります。 ※ただし、ロードセレクト機能は『AT』に設定されています。	
	350.1MHz				
	デジタル		OFF		
	取締特小				
	署活系				
	ワイド				
	警察 / 消防ヘリテレ				
	レッカー				
	新救急				
	消防				
	高速管理車両				
	警察活動				
	警備				
	タクシー				
	パトロールエリア設定	ON	ON		
GPS設定	W オービス	距離：500m	OFF		
	チェックポイント	ON	ON		
	警戒ポイント				
	駐車監視エリア				
	信号無視監視ポイント		OFF		
	ポリスエリア				
	事故ポイント				
	SA/PA/HO				
	N システム				
	道の駅ポイント				
	急カーブポイント				
	トンネルポイント				
	県境ポイント				
	分岐合流ポイント				
	逆走お知らせポイント				
	消防署エリア				
	スクールエリア				
	ロードセレクト	ALL	AT	AT	

アドバイス

- ・おまかせモード、オールオンモードの設定中は『GPS 設定』および『無線設定』の設定を変更することは**できません**。
- ・全てのモードで『機能設定』の設定を変更することはできます。
- ・セーフモードの設定を『ALL-ON』に設定している場合、セーフティウィーク期間中はオールオンモードになります。(⇒ P62)

便利な機能

走行エリアを選ぶ

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法



- ・【ROAD SELECT】を押す毎に設定が切替わります。
- ・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定をしてください。

設定		表示アイコン	GPS 警報を行う道路	モード確認アナウンスする速度の目安※
ALL	オールモード		一般道路／高速道路	—
CTY	シティーモード		一般道路のみ	80km/h 以上
HWY	ハイウェイモード		高速道路のみ	5km/h 以下
AT	オートモード	オールモード、シティーモード、ハイウェイモードを自動で切替える		—

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

⚠ 注意

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に、「オールモード」、「シティーモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わないことがあります。

- ・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
- ・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
- ・一般道路と高速道路が並行している場合。

設定操作

設定方法

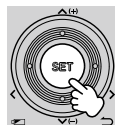
マニュアルモード選択時（⇒ P44）に全ての機能をそれぞれ設定することができます。おまかせ / オールオンモードでは、GPS 機能および無線警報の設定はできません。（『ジャン』 マニュアルモードにしてください』とエラー音が鳴ります）

※ 何もスイッチを押さないと約 30 秒後、自動的に待機画面に戻ります。

（その際、途中までスイッチで選択した設定は保存されます）

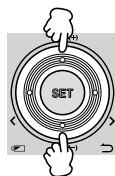
例：N システムの設定を【OFF】に設定変更するには・・・

1. 待機画面中に【SET】を**長押し**して、メインメニューに入る



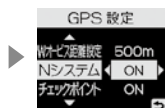
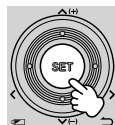
2. 【アップ】または【ダウン】を押して、メニュー項目を選択し、【SET】を押して決定する

例：【ダウン】を 1 回押して [GPS 設定] を選択し、【SET】を押して決定します。



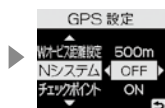
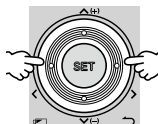
3. 【アップ】または【ダウン】を押して、機能項目を選択する

例：【ダウン】を 1 回押して [N システム] を選択します。



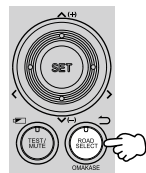
4. 【レフト】または【ライト】を押して、設定内容を選択する

例：【ライト】を 1 回押して [OFF] を選択します。



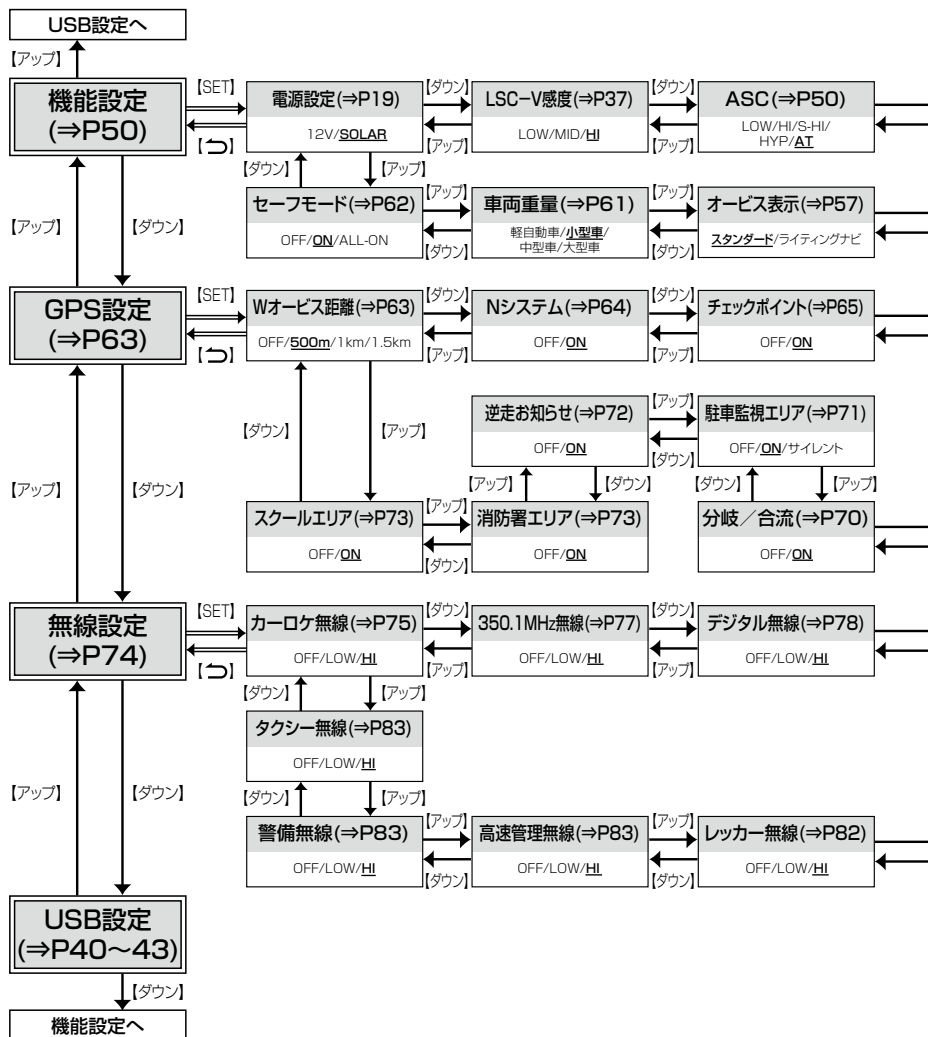
5. 【ROAD SELECT/ 〽】を 2 回押し待機画面に戻る

・ 続けて別項目を設定することもできます。

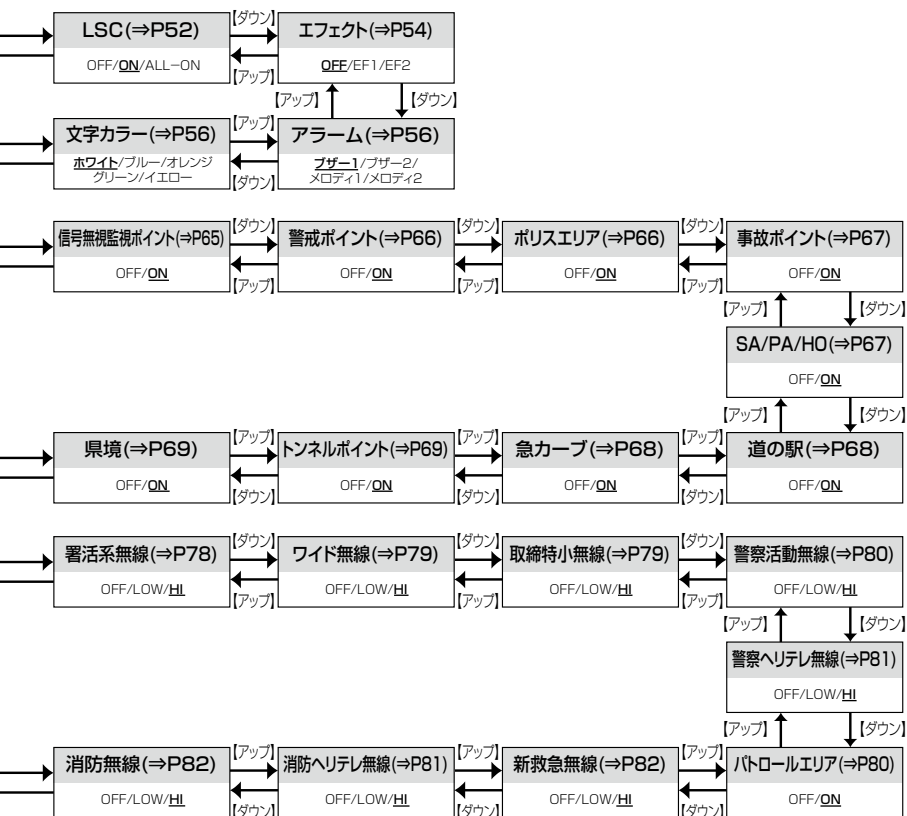


設定メニュー

設定内容一覧



- ※ おまかせ／オールオンモードでは、GPS 設定および無線設定の変更はできません。
- ※ 太字は初期設定になります。



設定項目

機能設定

ASC 機能

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒ASC 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

- ・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、走行する速度または車両振動によってレーダーの受信感度を自動的に調節する機能です。
- ・お買い上げ時は、[AUTO] に設定されています。

AUTO 設定

- ・低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報を鳴りにくくし、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

車両状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	車速に応じて LOW ⇄ HI ⇄ S-HI ⇄ HYPER と受信感度が変化

- ・シガープラグコード接続時とソーラーバッテリー動作時で走行速度の検出方法が異なります。

電源	機能	内容	走行速度	受信感度
シガープラグコード接続時	ASC-i 機能 (オート・センシティブ・コントロール・インテリジェンス)	GPS 機能を使用※して算出した自車の走行速度に合わせて設定	30km/h 未満	LOW
			30km/h ~ 60km/h 未満	HI
			60km/h ~ 80km/h 未満	S-HI
			80km/h 以上	HYPER
ソーラーバッテリー動作時	ASC-V 機能 (オート・センシティブ・コントロール・バイブレーション)	走行中の速度変化による車両振動を検出して設定		

※ GPS 衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

マニュアル設定

マニュアル設定することで、受信感度を固定することができます。下記表を参考に、最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	表示アイコン
LOW	市街地	低速走行	
HI	郊外地	中速走行	
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	
HYPER	高速道路	高速走行	

設定項目

LSC 機能

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒LSC 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

- ・LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時は、警報音を自動的にカットする機能です。
- ・お買い上げ時は、[ON] に設定されています。[OFF] または [ALL-ON] の 3 設定から選択することができます。
- ・[ON]低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をカット
- ・[ALL-ON]低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をカット
- ・[OFF]走行速度に関係なく警報音を鳴らす
- ・シガープラグコード接続時とソーラーバッテリー動作時で動作内容が異なります。

電源	機能	動作内容
シガープラグコード接続時	LSC-i 機能 (ロー・スピード・キャンセル・インテリジェンス)	GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 30km/h 以下の場合、警報音をカットする
ソーラーバッテリー動作時	LSC-V 機能 (ロー・スピード・キャンセル・バイブレーション)	駐停車時と走行時の振動差を検出して警報音をカットする

⚠ 注意

車両振動が極端に大きな車や、駐停車時と走行時の振動差が小さい車は LSC 機能が正常に作動しないことがあります。レーダー本体の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わることがあります。

LSC マークについて

LSC 機能の作動を 2 段階表示でディスプレイにて確認することができます。

状態	走行状態	アイコン表示	警報
LSC-V	停車中		しない
	走行中		する
LSC-i	停車中～ 30Km/h		しない
	30Km/h 以上		する
LSC 機能を OFF 又は衛星を受信していない時			する

設定項目

エフェクト（効果音）機能

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒エフェクト 詳しい設定操作はP47を参照ください。

音声アナウンス前後に用いる擬音効果です。下記の設定のように各警報時の効果音と音声アナウンス警報の選択ができます。

📢 アドバイス

通話音声を受信できる無線警報の場合、エフェクトモードの設定に関わらず通話音声流れます。

	項 目	OFF（初期設定）	エフェクト 1	エフェクト 2
GCD 警報	オービス	効果音 + アナウンス	効果音 + アナウンス	効果音 + アナウンス
	ダブルオービス			
	Nシステム		効果音のみ	アナウンスのみ
	チェックポイント			
	信号無視ポイント			
	警戒ポイント			
	ポリスエリア			
	事故ポイント			
	SA/PA/HO			
	道の駅ポイント			
	急カーブポイント			
	トンネルポイント			
	分岐・合流ポイント			
	駐車監視エリア			
	逆走お知らせポイント			
	消防署エリア			
	スクールエリア			
	県境ポイント		効果音 + アナウンス	効果音 + アナウンス

項 目		OFF（初期設定）	エフェクト 1	エフェクト 2
無線警報	カーોક無線	効果音 + アナウンス	効果音のみ	アナウンスのみ
	350.1 無線			
	デジタル無線			
	署活系無線			
	ワイド無線			
	取締特小無線			
	警察活動無線			
	警察ヘリテレ無線			
	パトロールエリア			
	新救急無線			
	消防ヘリテレ無線			
	消防無線			
	レッカー無線			
	高速管理車両無線			
	警備無線			
	タクシー無線			

設定項目

アラーム機能

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒アラーム

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

警報音をブザー 1 / ブザー 2 / メロディ 1 / メロディ 2 のいずれかで鳴らすことができます。

設 定	内 容	表示アイコン
ブザー 1 (初期設定)、 ブザー 2	警報音をブザーで鳴らします。	 
メロディ 1	警報音をメロディ音、[情熱大陸]で鳴らします。	
メロディ 2	警報音をメロディ音、クラシック [ワルキューレの騎行] で鳴らします。	

文字カラー切替え機能

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒文字カラー

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

文字の色を 5 色 (ホワイト、ブルー、オレンジ、グリーン、イエロー) に切替えることができます。

※ 背景色を切替えることはできません。

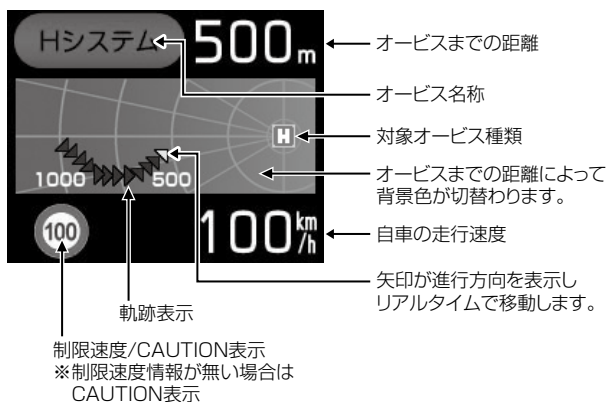
オービス表示設定

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒オービス表示 詳しい設定操作はP47を参照ください。

- ・オービスポイントに接近したときの警報画面を【スタンダード】【ライティングナビ】の2種類から選択できます。
- ・対象オービスは、レーダー式、ループコイル、LHシステム、Hシステム、ユーザー登録ポイントです。

ライティングナビゲーションについて

- ・オービス（GPS）警報時にオービスまでの距離と自車位置を分かりやすく表示します。



設定項目

《オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の音声アナウンス内容》

オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
ループコイル	約（※ 1）先（※ 2）ループコイル があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
LH システム	約（※ 1）先（※ 2）LH システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
H システム	約（※ 1）先（※ 2）H システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
レーダー	約（※ 1）先（※ 2）レーダー があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	
ユーザー登録 ポイント	約（※ 1）先（※ 2）上 ユーザーポイント があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）	

- ※ 1 2 キロ、1 キロ、500m いずれかをアナウンスします。2 キロは高速道路のみアナウンスします。
- ※ 2 『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。また 500m の警報の場合、カメラ位置の方向（正面・左側・右側）をアナウンスします。
- ※ 3 アナウンスを始めた時の速度を約 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
- ※ 4 2 キロ、1 キロの警報の場合、制限速度または到達時間をアナウンスします。
 - ・制限速度データがあり、走行速度が制限速度を超えている場合、『制限速度は〇〇キロです』
 - ・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『到達時間は〇〇秒以内です』

⚠ 注意

- ・※ 3 のアナウンスの速度はアナウンスした時の速度であり、ディスプレイ表示される速度は現在の走行している速度のため、アナウンス速度と表示される速度は違う場合があります。
- ・※ 4 の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。
- ・G システム（⇒ P20）作動時は走行速度と到達時間のアナウンスを行いません。また、走行速度に関わらず制限速度のアナウンスを行います。

《トンネル出口警報・トンネル内オービス警報の音声アナウンス内容》

オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	表示画面
トンネル出口 警報	(※ 1) トンネル出口 (※ 2) があります。時速は約(※ 3)キロ。(※ 4)	
トンネル内 オービス 警報	《トンネル手前で警報時》 (※ 1) トンネル内 (※ 2) があります。時速は約(※ 3)キロ。(※ 4)	
	《1キロでの警報時》 約1キロ先(※ 1) トンネル内 (※ 2) があります。(※ 4)	
	《500mでの警報時》 この先トンネル内 (※ 2) があります。	

- ※ 1 『高速道／一般道』のいずれかをアナウンスします。
 ※ 2 取締機の種類をアナウンスします。
 ※ 3 アナウンスを始めた時の速度を約10km/h単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h以上は「190キロ以上です」とアナウンスします。
 ※ 4 制限速度をアナウンスします。
 ・制限速度データがある場合、『制限速度は〇〇キロです』
 ・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『時速は約〇〇キロ』（トンネル内オービス除く）

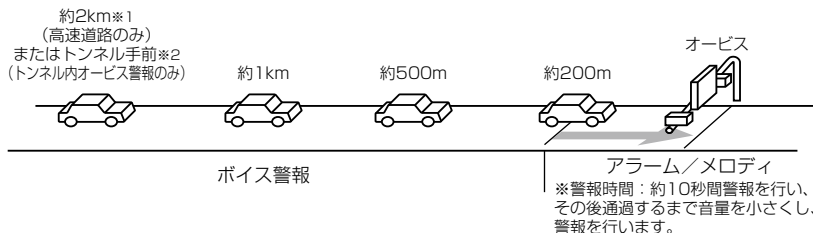
⚠ 注意

Gシステム（⇒P20）のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇警報を行う距離

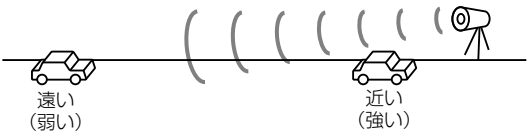


- ※ 1 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。
 ※ 2 トンネル入口から1km以上先にオービスがある場合のみ警報します。

設定項目

■レーダー警報のしかた

レーダー式取締り機 (⇒ P84) に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の 距離（電波の強さ）			
ディスプレイ表示			
レベルメーター			
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。
		HI	
		S-HI	アラーム音が鳴る
		HYPER	
ステルス波 受信 (⇒ P84)	ディスプレイ表示		
	アラーム音	ピコッピコッピコッ・・・ ※メロディ設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。 アラーム音が鳴ります。	

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報 (カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、警察 / 消防ヘリテレ、取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、パトロールエリア、警察活動、警備、タクシー) を優先します。

※ 表示される速度は現在の走行している速度です。

車両重量設定

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒**車両重量** 詳しい設定操作はP47を参照ください。

車両重量を設定することで、『パワーチェック info』画面で自車のおおよその馬力を表示することができます。

下記表を参考に自車の車両重量に近い設定を選択してください。

設 定	車両重量の目安
軽自動車	～ 1250kg
小型車	1251 ～ 1750kg
中型車	1751 ～ 2250kg
大型車	2251 ～

設定項目

セーフモード設定（セーフティモード info）

メインメニュー⇒[▲▼]⇒機能設定⇒[▲▼]⇒セーフモード 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

セーフティウィーク期間中にセーフモードの設定が ALL-ON の場合は、自動的にオールオンモード設定に切り替える設定です。

セーフモード期間中に電源が入ると、音声アナウンスと画面表示します。

- ALL-ON 電源が入ると音声アナウンスと画面表示をして、セーフティウィーク期間中は自動的にオールオンモードになります。
- ON 電源が入ると音声アナウンスと画面表示をします。セーフティウィーク期間中でもマニュアルモードの設定した状態を保持します。
- OFF 電源が入っても音声アナウンスと画面表示はしません。セーフティウィーク期間中でもおまかせモードまたはマニュアルモードの設定した状態を保持します。

セーフティウィーク	期間（※）	アナウンス / 表示画面
春の交通安全週間	4月6日～4月15日	「春の交通安全週間です」 
秋の交通安全週間	9月21日～9月30日	「秋の交通安全週間です」 
年末年始取締り強化期間	12月15日～1月5日	「年末年始取締り強化期間です」 

※ 交通安全週間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

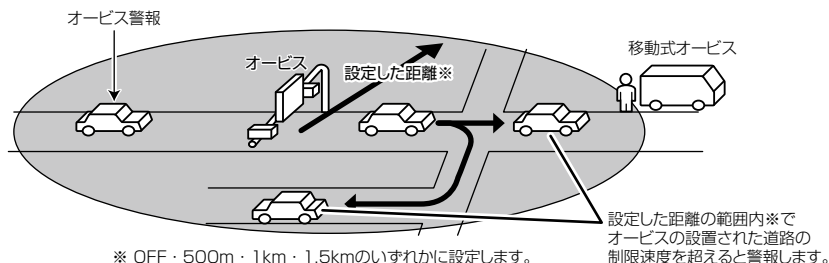
GPS 設定

ダブルオービス警報 (W オービス info)



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒W オービス距離 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

- ・ダブルオービスとは、固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
- ・W オービスを設定した場合は、一般道路上のオービスポイントを通過後、下図※で設定した距離の範囲内で、オービスの設置された道路の制限速度以上で走行すると、警報アナウンスとディスプレイ表示で警告します。



アナウンス	表示画面
効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。	

※ おまかせモード設定時は OFF です。

※ お買い上げ時またはオールオンモード設定時は、500m に設定されています。

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

⚠ 注意

- ・ 設定した距離の範囲内で信号などにより停止 (5km/h 以下) した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
- ・ オービス警報キャンセルポイント (⇒ P34) に設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- ・ オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。

設定項目

N システム /NH システム警報 (N/NH SYSTEM info)



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒N システム

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム /NH システムへの警報は行いません。

※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



アナウンス	表示画面
効果音、この先 (高速道 一般道) N システムがあります。	

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

⚠ 注意

警報を行う距離は、対象とする N システム /NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

チェックポイント警報（トラップポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒チェックポイント 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

速度取締りを中心に頻繁に行われているポイントや、過去に取締りの事例があったポイントが予め本機に登録しており、そのポイントに接近すると約 500m ～ 1km の間で注意をお知らせし、離れれば回避をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 一般道 チェックポイントがあります。	
効果音、チェックポイントを回避しました。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

信号無視監視ポイント警報（信号無視監視ポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒信号無視ポイント 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

- ・信号無視監視ポイントとは「信号無視監視機」の呼称で、この路線で信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている信号無視監視ポイントに接近すると約 500m ～ 1km の間で注意をお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 信号無視取締り機にご注意ください。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

設定項目

警戒ポイント警報（警戒ポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒警戒ポイント

詳しい設定操作は P47 を参照ください。

本機に登録されている白バイ監視路線ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 警戒ポイントです。	
効果音、この先 重点警戒ポイントです。	

アドバイス

- ・重点警戒ポイントは警戒ポイント警報を行ったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
- ・重点警戒ポイントは LSC 機能が【ON】設定の場合でも、警報音がカットされず、警報を行います。
 - ※ 警戒ポイントは警報音がカットされます。
 - ※ LSC 機能が【ALL ON】設定の場合、警戒ポイント、重点警戒ポイントともに警報音がカットされます。

ポリスエリア警報（ポリスロケット info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒ポリスエリア

詳しい設定操作は P47 を参照ください。

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 一般道 ポリスエリアがあります。	

- ※ ロードセレクト（⇒ P46）がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。
- ※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

事故ポイント警報 (事故ポイント info)



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒事故ポイント

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

全国の事故多発ポイントを予め本機に登録しており、事故多発ポイントに接近 (約 300m) するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 一般道 事故多発ポイントがあります。	

※ ロードセレクト (⇒ P46) がシティーモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。



SA/PA/HO 警報 (SA/PA/HO info)

メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒SA/PA/HO

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると、2km 手前でお知らせします。

状況	アナウンス	表示画面
パーキングエリア	効果音、この先、高速道 パーキングエリアがあります。	
サービスエリア	効果音、この先、高速道 サービスエリアがあります。	
ハイウェイオアシス	効果音、この先、高速道 ハイウェイオアシスがあります。	

※ ロードセレクト (⇒ P46) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

設定項目

道の駅ポイント警報（道の駅 info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒道の駅

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されている道の駅付近に接近（約 1 km）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、一般道 道の駅があります。	

※ ロードセレクト（⇒P46）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

急カーブポイント警報（急カーブポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒急カーブ

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）（※ 2）急カーブがあります。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ 1 ロードセレクト（⇒P46）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 2 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の急カーブと思われる位置を登録して警報を行っています
が、下記には注意してください。

- ・全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

トンネルポイント警報（トンネルポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒トンネルポイント

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道（※ 1）トンネルがあります。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 1 トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上のトンネル位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

県境ポイント警報（県境ポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒県境

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

県境付近に接近（約 1 km）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス
効果音、この先、（※ 1）。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

※ 1 都道府県をアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の県境位置を登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- ・山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。
- ・全ての県境ポイントで警報するわけではありません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

設定項目

分岐合流ポイント警報（分岐合流ポイント info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒分岐・合流

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先、高速道 分岐（又は合流）があります。	 

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の分岐合流ポイントを登録して警報を行っていますが、下記には注意してください。

- 全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。
- ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。



駐車監視エリア警報（駐車監視エリア info）

メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒**駐車監視**

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

- OFF画面表示と音声アナウンス共に警報しません。
- ON画面表示と音声アナウンスで警報します。
- サイレント画面表示のみで音声アナウンスは行いません。

アナウンス	表示画面
効果音、駐車監視エリアです。	

※ 表示される速度はアナウンスした時の走行速度です。

※ ロードセレクト（⇒ P46）がシティー、オールモードの時のみ有効です。

※ 駐車監視エリア内を走行中は待機画面内の GPS 受信マーク部に「駐禁マーク」が表示されます。



⚠ 注意

弊社調査による監視エリアを登録して警報を行っていますが、下記点にご注意ください。

- 全ての監視エリアで警報するわけではありません。
- 実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。

設定項目

逆走お知らせ警報（逆走お知らせポイント info）



メインメニュー ⇒ [▲▼] ⇒ GPS 設定 ⇒ [▲▼] ⇒ 逆走お知らせ

詳しい設定操作は P47 を参照ください。

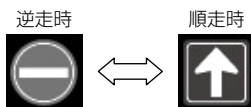
全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や入口から本線に合流しようとする時、お知らせします。

《出入口が別方向の場合》

サービスエリア等で停車し、速度が 20km/h 以上でサービスエリア等の入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報画面の表示を続けます。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 ご注意ください。	

※ 警報中に、逆方向への走行から順方向への走行になった場合、警報画面の標識イラスト部分が切替わります。



《出入口が同じ方向の場合》

サービスエリア等の出入口が同じ方向の場合、サービスエリア等で停車した時に警報を行います。その後発進し、速度が 20km/h 以上になった場合、再度警報を行います。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 ご注意ください。	

⚠ 注意

逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ ロードセレクト (⇒ P46) の設定および LSC の設定 (⇒ P52) に関わらず、警報を行います。

消防署エリア警報（消防署エリア info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒消防署エリア

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されている消防署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 緊急車両にご注意ください。	

※ ロードセレクト（⇒ P46）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

スクールエリア警報（スクールエリア info）



メインメニュー⇒[▲▼]⇒GPS 設定⇒[▲▼]⇒スクールエリア

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

本機に登録されている小学校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。

※ 土曜日、日曜日は警報は行いません。

アナウンス	表示画面
効果音、この先 安全運転を心がけましょう。	

※ ロードセレクト（⇒ P46）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

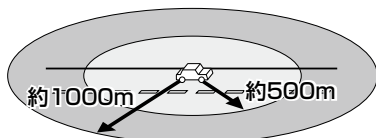
設定項目

無線設定

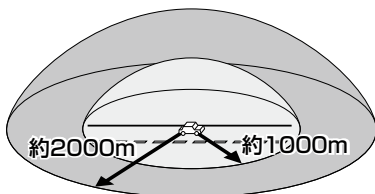
- ・本製品は、各種無線の受信感度を OFF/LOW/HI に設定することができます。
- ・下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。

□ … [LOW] 設定時

■ … [HI] 設定時



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線



警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- ・放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- ・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

警報画面について

警報の種類



受信レベル 3 以上で
『CAUTION』表示

※ミュート時はミュートアイコンが
表示されます。(⇒P32)

※ 表示される速度は現在の走行している速度です。

カーロケ無線警報

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒カーロケ無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

カー・ロケーター・システムとは、「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的(間欠)に各本部に送信するカーロケーターシステムを装備しています。

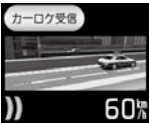
本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態(緊急走行、通常走行、駐停車)によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。

※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。現在、受信できる地域であっても、新システムの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

設定項目

◇カーロケ無線受信状況 アナウンス	表示画面
◇遠いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。	
◇近いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
◇接近するカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	
◇カーロケ無線を受信し、その後カーロケ無線を 回避した場合 効果音～カーロケ無線を回避しました。	

350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒350.1 無線 詳しい設定操作は P47 を参照ください。

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合があります。



アナウンス	表示画面
効果音～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ 350.1 無線を受信しました。	

設定項目

デジタル無線警報

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒デジタル無線 詳しい設定操作はP47を参照ください。

- ・各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。
- ・デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～デジタル無線を受信しました。	
近い	効果音～デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	

署活系無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒署活系無線 詳しい設定操作はP47を参照ください。

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス	表示画面
効果音～署活系無線を受信しました。	



ワイド無線警報

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒ワイド無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336～338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス	表示画面
遠い	効果音～ワイド無線を受信しました。	
近い	効果音～ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。	
接近	効果音～ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。	



取締特小無線警報

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒取締特小無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1 MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 取締特小無線を受信しました。	

設定項目

警察活動無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒警察活動無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～警察活動無線を受信しました。	

パトロールエリア警報 (パトロールエリア info)

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒パトロールエリア

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス	表示画面
効果音～パトロールエリアです。ご注意ください。	

👉 アドバイス

- ・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内2つ以上の設定がONになっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
- ・必ず検問、取締等を行っているとは限りません。



警察／消防ヘリテレ無線警報

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒警察ヘリテレ無線

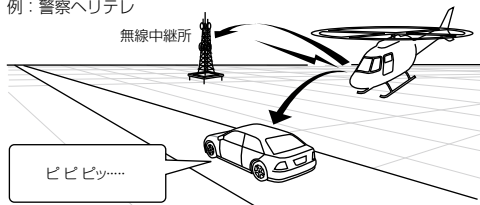
詳しい設定操作は
P47を参照ください。

メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒消防ヘリテレ無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。

※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。

※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス	表示画面
警察ヘリテレ	効果音～通話音声～ 警察ヘリテレ無線を 受信しました。	
消防ヘリテレ	効果音～通話音声～ 消防ヘリテレ無線を 受信しました。	

設定項目

新救急無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒新救急無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 新救急無線を受信しました。	

消防無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒消防無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 消防無線を受信しました。	

レッカー無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒レッカー無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ レッカー無線を受信しました。	

高速管理車両無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒高速管理無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 高速管理車両無線を受信しました。	

警備無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒警備無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

・各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ 警備無線を受信しました。	

タクシー無線警報



メインメニュー⇒[▲▼]⇒無線設定⇒[▲▼]⇒タクシー無線

詳しい設定操作は
P47を参照ください。

・各地のタクシー会社が使用する無線です。

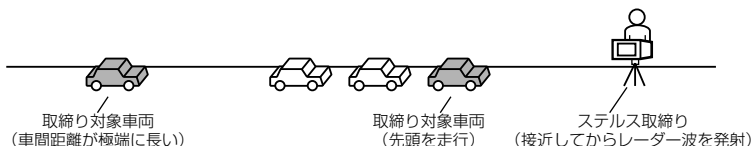
アナウンス	表示画面
効果音～通話音声～ タクシー無線を受信しました。	

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

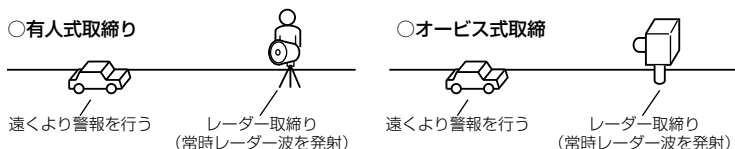
●ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



●レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



●新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



● 移動オービス式／パトカー車載式取締り方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締り方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

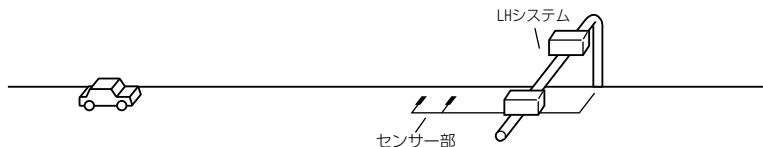
● ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



● LH システム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



付録

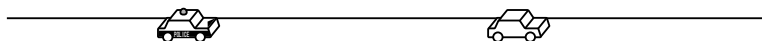
● 光電管式取締り方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



● 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

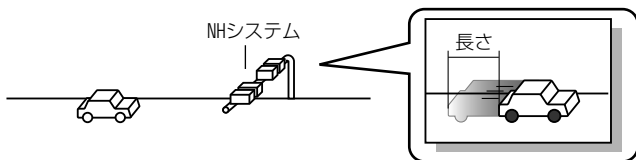


👉 アドバイス

光電管式取締り方法（有人式取締り）及び追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締り方法に関しては本製品のチェックポイントに登録されている地点（⇒ P65）であれば GPS 警報を行います）

● NH システム式取締り方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



初期状態に戻す（データリセット）

登録したすべてのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。

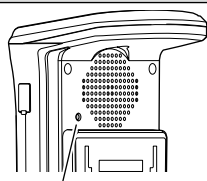
⚠ 警告

- 消去したデータの復元はできません。
- お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ディスプレイモード中はデータリセットできません。

リセット方法

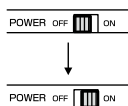
電源スイッチが OFF の状態で、レーダー本体底面にあるリセットスイッチを先のとがった物で押しながら、電源スイッチを入れてください。

①リセットスイッチを 押しながら



リセットスイッチ

②電源スイッチを ON にする

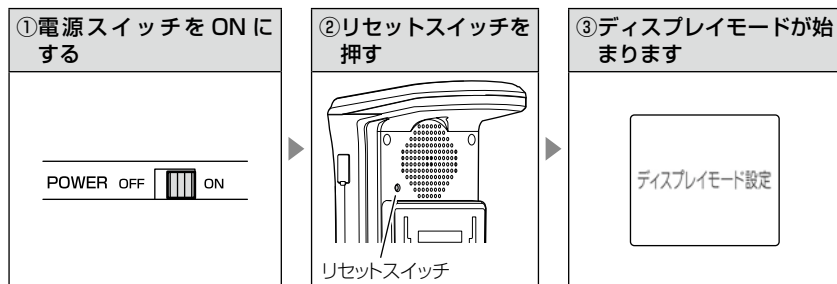


③電源 / 振動ランプが点滅し、「オールリセットしました」とアナウンスされればリセット完了です

オールリセット

ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。



- 再度リセットスイッチを押すと、ディスプレイモードは終了します。

マップコードについて

通常位置情報を管理する場合は緯度経度を用いるのが一般的ですが、マップコードは緯度経度に比べ桁数が少ないのでデータ容量を小さくすることができます、覚えやすいのが特徴です。

また、マップコードに対応したカーナビ、WEB サイトやアプリケーションを使用すれば、携帯電話やインターネットを使って場所の特定が簡単にできます。

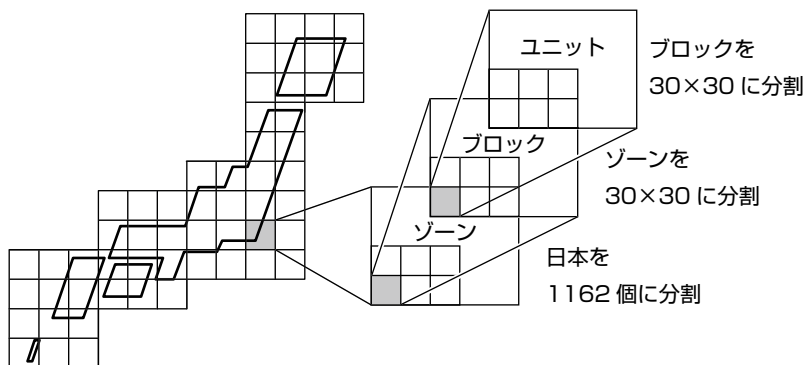
(例)

- ① 待ち合わせの時に、自分のいる場所のマップコードを相手に教えれば、相手が携帯電話やインターネット、カーナビを使って簡単に場所を確認できます。
- ② 旅の途中で立ち寄った場所をマップコードで覚えておいて、後で確認することができます。
- ③ 住所や電話番号で検索できないような場所（山や川等）でも簡単に目的地設定ができます。

マップコードの構成

マップコードは日本を大まかに分割し（ゾーン）、それをさらに分割したもの（ブロック、ユニット）で構成されています。

このゾーン、ブロック、ユニットの番号を並べた物がマップコードです。



※ マップコードは(株)デンソーの登録商標です。

※ マップコードはマップコード対応のカーナビ、PND、携帯電話のコンテンツでご利用できます。

※ 詳しくはマップコード公式サイト (<http://www.e-mapcode.com/>) へ

付録

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチは ON になっていますか？ ●シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？ ●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	19 ページ 10 ページ 4 ページ 40～43 ページ
ソーラーバッテリー動作時、電源 / 振動ランプがつかない	●十分な充電がしてありますか？	9 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？	4 ページ 13～15 ページ 13 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ●LSC-V/LSC-i 機能が作動していませんか？	23 ページ 46 ページ 52 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ●各 GPS 警報の設定は OFF になっていませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ●シガープラグコード接続が必要な無線警報ではないですか？	13 ページ 59 ページ 58,64 ページ 48,49 ページ 39 ページ 34 ページ 46 ページ 11 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？	85,86 ページ 33 ページ 51 ページ
無線警報しない場合	●各無線の設定は ON になっていますか？ ●シガープラグコード接続が必要な無線警報ではないですか？	48,49 ページ 11 ページ
LSC 機能が働かない	●LSC-V/LSC-i 機能は正しく設定してありますか？	52 ページ
ASC 機能が働かない	●ASC-V/ASC-i 機能は正しく設定してありますか？	50 ページ
ユーザーポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●ユーザーポイントを 100 件以上登録していませんか？	13 ページ 31 ページ
レーダーキャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●レーダーキャンセルポイントを 50 件以上登録していませんか？	13 ページ 33 ページ
設定したモードにならない	●おまかせカンタン設定がマニュアルモードになっていますか？	44,45 ページ
ディスプレイが真っ黒表示になる	●ディスプレイの動作温度範囲を超えていませんか？	6 ページ

付録

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用	受信周波数
最小消費電流	10mA 以下	・ GPS (1575.42MHz)
最大消費電流	200mA 以下	・ X バンド (10.525GHz)
受信方式	パラレル 18ch ダブルスーパーヘテロダイン	・ K バンド (24.200GHz)
測位更新時間	最短 1 秒	・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	・ デジタル無線 (159MHz 帯～160MHz 帯)
本体サイズ	72 (W) × 107 (D) × 25.3 (H) ／mm (バッテリー部除く)	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
液晶フロント部 サイズ	72 (W) × 53.5 (H) ／mm	・ ワイド無線 (336MHz 帯～338MHz 帯)
液晶ディスプレイ 表示面積	43.5 (W) × 35 (H) ／mm 2.2 インチ TFT	・ 警察ヘリテレ無線 (340MHz 帯～372MHz 帯)
重量	162 g (充電電池含む)	・ 消防ヘリテレ無線 (382MHz 帯～383MHz 帯)
		・ 取締り特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465MHz 帯～468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458MHz 帯～459MHz 帯、467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

リモコン (型式 : RRE-X809)

サイズ	32 (W) × 62 (L) × 13 (H) ／mm
重量	20.0 g (電池含む)
動作温度範囲	-10℃～60℃
使用電池	リチウム電池 CR2025 (1 個)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

さくいん

1/A	
350.1MHz 警報	77
ASC 機能	50
GPS	5
GPS データを更新	39 ~ 43
G モニター表示機能	30
LSC 機能	52
N システム / NH システム警報	64
SA/PA/HO 警報	67
SS-063	15, 19
SS-065	9
あ	
アラーム機能	56
エフェクト (効果音) 機能	54
オートディマー機能	24
オートボリュームダウン機能	23
オービス警報	58
オールオンモード	45
オールリセット	87
おまかせカンタン設定	44
おまかせモード	45
音量調整	23
か	
カーロケ無線警報	75 ~ 76
各部の名称	7 ~ 8
逆走お知らせ警報	72
急カーブポイント警報	68
警戒ポイント警報	66
警察活動無線警報	80
警察ヘリテレ	81
警備無線警報	83
警報キャンセルポイント登録 / 解除	34
県境ポイント警報	69
高速管理車両無線警報	83
故障かな?と思ったら	90
梱包内容	8
さ	
シガープラグコード接続時	11
事故ポイント警報	67
車両重量設定	61
充電	9 ~ 10
消防署エリア警報	73
消防ヘリテレ	81
消防無線警報	82
署活系無線警報	78
新救急無線警報	82
信号無視監視ポイント警報	65
振動センサー	37
スクールエリア警報	73
ステルス	60
ステルス式取締り方法	84
製品仕様	91
セーフモード設定	62
設定内容一覧	48 ~ 49
走行エリア	46
走行エリアの設定	46
ソーラーバッテリー動作時	11
た	
待機画面の表示内容	27
タクシー無線警報	83
ダブルオービス警報	63
チェックポイント警報	65
駐車監視エリア警報	71
ディスプレイの明るさ	24
ディスプレイ表示	21 ~ 22
ディスプレイモード	88
データ更新	39 ~ 43
データリセット	87
デジタル無線警報	78
テスト機能	23
電源設定	19
電源を入れる	19
ドライブ info 機能	28
取締特小無線警報	79
取締り用連絡無線	77
取付け	13 ~ 17
トンネルポイント警報	69
は	
バッテリーチェック	25
バトロールエリア警報	80
パワーチェック info 機能	29
分岐合流ポイント警報	70
保証規定	95
保証書	裏面
ポリスエリア警報	66
ま	
マップコード	36
マップコードについて	89
マニュアルモード	45
道の駅ポイント警報	68
ミュート	32
ミュートアイコン	32
無線キャンセル登録 / 解除	35
無線の受信感度	74
文字カラー切替え機能	56
や	
ユーザー登録ポイント警報	58
ユーザーポイント登録 / 解除	31
ら	
ライティングナビゲーション	57
リモコン操作	18
リモコンの電池交換	12
リモコンホルダーの取付け	17
レーダーキャンセルポイント登録 / 解除	33
レーダー警報	60
レッカー無線警報	82
わ	
ワイド無線警報	79